

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（4月）

青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稻

(1) 生育の状況

管内のは種作業は平年で4月12日が始め（水稻作付面積の5%）、4月16日が最盛期（同50%）となっている。

表1 管内は種進捗状況

	本年	平年
は種始（5%）	（4月12日）	4月12日
は種盛期（50%）	—	4月16日
は種終（95%）	—	4月22日

(2) 今後の対策等

適正な温度・水分・肥培管理を徹底する。

効果的な水管理をするため、畦畔のかさ上げ・補強・整備を行う。

2 小麦

(1) 生育の状況

4月10日現在の生育状況は、草丈は平年よりかなり長く、 m^2 当たり茎数は平年よりやや多かった。幼穂形成期は4月1日で、平年より3日遅かった。

表2 小麦生育調査結果（4月10日現在） 品種：ネバリゴシ

場所		は種日 (月・日)	草丈 (cm)	茎数 (本/ m^2)	幼穂形成期 (月・日)
八戸市 市川町	本年	10月9日	19.8	899	4月1日
	前年	10月13日	18.1	1,101	4月2日
	平年	9月29日	17.4	883	3月29日

※ 平年はH26～R6の平均値

(2) 今後の対策等

適期の病虫害防除及び追肥に努める。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

春掘り作業は、例年より5日間程度早い3月10日頃から始まったものの、3月17日の降雪により作業は中断し、3月24日頃から再開している。

J Aへの入庫数量は4月10日現在で過去5か年平均の約6割程度となっており、作業は遅れている。

(2) 今後の対策・指導等

地温上昇による芽の動き出しや、スポンジ症等による品質低下を軽減するため、4月末を目途に掘取りを終了する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

7月上旬出荷の作型は、3月15日頃から定植作業が始まっており、例年より5日程度遅れている。また、8月中旬出荷の作型は、4月10日頃から定植作業が始まっており、例年より16日程度遅れている。

(2) 今後の対策等

計画的に定植作業を行う。また、4月下旬から5月にかけては、風が強く、乾燥しやすい時期となるため、不織布での被覆などによる防風対策を行うほか、定期的にかん水を行う。

3 にんにく

(1) 生育の状況

4月10日現在の草丈は、旧倉石を除き平年を上回った。生葉数は平年並から下回った。積雪が多かった地域では、下葉の枯れがやや目立つ状況となっている。病害虫の発生は、特にみられていない。

表3 生育調査結果（4月10日現在）

場所	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片分化期	草丈(cm)	生葉数(枚)	茎径(mm)
五戸 (桜沢)	本年	白玉王	10月6日	グリーン	—	48.2	5.3	14.9
	平年比		7日遅い		—	130%	102%	101%
	*平年		9月29日		4月14日	37.1	5.2	14.8
	*前年	白玉王	10月5日	グリーン	4月14日	38.5	4.4	15.2
旧倉石 (又重)	本年	在来種	10月2日	グリーン	—	32.7	4.8	15.1
	平年比		1日遅い		—	83%	92%	99%
	平年		10月1日		4月15日	39.3	5.2	15.3
	前年	在来種	10月4日	グリーン	4月15日	39.3	4.9	16.0
新郷 (扇ノ沢)	本年	在来種	10月3日	グリーン無穴	—	34.6	4.2	—
	平年比		平年並		—	105%	94%	—
	平年		10月3日		4月16日	32.9	4.5	14.7
	前年	在来種	10月1日	グリーン無穴	4月15日	35.5	4.5	14.7
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	9月28日	グリーン	—	37.3	4.5	—
	平年比		2日早い		—	107%	94%	—
	平年		9月30日		4月16日	34.9	4.8	13.9
	前年	白玉王	9月30日	グリーン	4月14日	44.9	5.5	14.4

※平年値について（五戸は調査地点変更）

五 戸：H27年～R6年までの過去10年間の平均値（参考値）

旧倉石：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

新 郷：H27年～R6年までの過去10年間の平均値

田 子：H27年～R6年まで（R2年を除く）の過去9年間の平均値

表4 病害等発生状況調査結果（100株調査：4月10日現在）

場所	春腐病	さび病	欠株	二本立ち
五戸	1%	0%	1%	5%
旧倉石	0%	0%	0%	7%
新郷	0%	0%	0%	5%
田子	0%	0%	1%	6%

(2) 今後の対策等

マルチが剥がれた箇所があれば、早めに補修する。明きよの手直しをするなど、排水対策を徹底する。葉先枯れ症状が見られたり、葉色が淡いほ場では、病害防除と併せて、葉面散布剤を活用して生育促進に努める。病害は、降雨前の薬剤散布を徹底する。

4 いちご

(1) 生育の状況

「とちおとめ」は、草高が32.2cm（平年比94%）と平年をかなり下回っている。「よつぼし」は、草高は23.3cm（平年比88%）と平年をかなり下回っている。生育観測ほでは、現在、着果～収穫中である。害虫はオンシツコナジラミの発生がみられる。

表5 生育調査結果（令和7年4月11日現在）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年	9月3日	32.2	23.0	10.0	8.1
	(平年比)	(10日遅い)	(94%)	(97%)	(106%)	(113%)
	平年	8月24日	34.2	23.6	9.4	7.2
	前年	8月25日	40.3	25.8	11.4	8.8
よつぼし	本年	9月25日	23.3	16.8	7.7	6.0
	(平年比)	(10日遅い)	(88%)	(95%)	(103%)	(100%)
	平年	9月15日	26.4	17.6	7.5	6.0
	前年	9月19日	29.1	20.3	7.7	6.2

※平年：「とちおとめ」平成17～令和5年（植付年）の19か年の平均値
 （但し、定植日については平成28年～令和5年の8か年平均）
 「よつぼし」平成30～令和5年（植付年）の5か年の平均値

(2) 今後の対策等

適正な温度管理を行う。

本ほでのうどんこ病やオンシツコナジラミ、ハダニ類、育苗ほにおける炭そ病の防除を徹底する。